

関川（光星）表彰台狙う

あすから
各種目決勝



関川 愛音

スポーツクライミングの世界選手権は24日からソウルで各種目の決勝が始まる。トップ選手を多くそろえる日本は、男女でメダル獲得が期待できそう。パリ五輪銀メダリストのエース安楽宙斗（J SOL）はボルダー

とリードの2冠に挑む。

安楽はボルダーで今季ワールドカップ（W杯）

3勝。全6戦で表彰台に立った安定感は抜群だ。

3年連続の年間王者にも輝き、今大会の優勝候補筆頭に挙がる。2019

年大会覇者でパリ五輪代表の檜崎智亜も健在。女子は年間総合2位の中村

真緒（日新火災）や2大会連続五輪代表の野中生

萌、関川愛音（めぐでい）

「八学光星」が表彰台を

うかがう。

リードでも安楽はW杯6戦で3勝を挙げ、年間総合は2位。前回23年大会2位から順位を上げら

れるか。吉田智音（摂南大）と鈴木音生（静岡県大）は、ともに今季W

杯で初優勝を果たすなど力をつけている。

スピードは男子で今季W杯2位に2度入るなど

成長著しい大政涼（ダイキアックス）がメダルを

狙う。